平成26年度事務事業評価シート

取組みコード 51134

区分	補助金・交付金	担当課	農政課	作成日	平成26年5月20日
事業名	優良牛・優良受精卵導入事業補助金	開始年度	平成20年度	予算科目	5.1.4.1.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第5部 多彩な産業の活力あるまちづくり
章	第1章 特色ある農林業の振興
節	第1節 農業の振興
基本施策	3 地域農業の振興
取組みの基本方向	(4)畜産経営基盤の強化を支援するとともに、臭気・水質汚濁の防止対策など、周辺環境整備を促進します。
根拠法令等	愛川町優良牛・優良受精卵導入事業補助金交付要綱
目的 (誰・何を対象に、何のために)	町内における酪農の振興発展を図るため、高能力牛の確保及び家畜の改良繁殖を目的として、優良牛及び優良受精卵を導入した者に対し、その費用の一部を助成する。
内容・方法 (何を行っているのか)	町内における酪農の振興発展を図るため、高能力牛の確保及び家畜の改良繁殖を目的として、優良牛及び優良受精卵を導入した者に対し、その費用の一部を助成する。優良牛とは北海道産の初妊牛及び優良受精卵とはホルスタイン、和牛の受精卵をいう。補助金額：優良牛：優良牛購入金額の5%。優良受精卵：優良受精卵購入額の5%。

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標	指標名		平成21年度	平成28年度			
		認定農業者数	32.0	40.0			
	農業振興について満足と感じる割合	30.5	41.0				
(A) 総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果	畜産(牛)農家の維持						
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H23年度)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
畜産(牛)農家数	増	畜産(牛)農家の維持	計画値		4.0	4.0	4.0
			実績値	4.0	4.0	4.0	
			達成度※自動計算		100.0	100.0	0.0
(B) 成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動	優良受精卵の導入に係る経費の助成						
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目		平成24年度	平成25年度	平成26年度
優良受精卵補助件数	増	年間の補助件数	計画値		1.0	1.0	1.0
			実績値		1.0	1.0	1.0
			達成度※自動計算		100.0	100.0	100.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度	基準年度(決算)(H23年度)	平成24年度(決算)	平成25年度(決算見込)	平成26年度(予算)
(A) 事業費(円)	40,000	29,000	27,500	50,000
(B) 概算職員数(人)	0.040	0.040	0.040	0.040
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	332,000	332,000	332,000	332,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	372,000	361,000	359,500	382,000
単位当たりコスト ※自動計算	93,000.0	90,250.0	89,875.0	
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源 ※自動計算	372,000	361,000	359,500	382,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 <small>(公費を投入して実施することが妥当な事業か)</small>	法令等で義務付けられた事業である。		B
	民間サービスで同様の事業は実施されていない。市場原理に委ねることができない。	○	
	国や県において同種類の事業が実施されていない。		
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない。	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている。	○	
	受益に応じた負担は適正である。	○	
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である。		
	町民の日常生活に必要な事業である。 上記のいずれにも当てはまらない。		
有効性 <small>(基準年と比較して成果が上がっているか)</small>	成果指標について平成25年度の目標を達成している	○	A
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 <small>(なるべく費用をかけずに成果を上げているか)</small>	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減≧成果ダウン	B
有用性 <small>(施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)</small>	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	直接的	A
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
総合評価 ※自動判定		良好に実施できている	

5. 特記事項

6. 自己評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
理由	畜産農家は減り続けている中、減少に歯止めをかけるため引き続き本事業は必要である。					
今後の方向性	全国的にも畜産農家が激減する中、町内における酪農の振興発展を図るため、高能力牛の確保及び家畜の改良繁殖を目的として、優良牛及び優良受精卵を導入した者に対し、引き続きその費用の一部を助成することにより経営の一助としたい。					

7. 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のとおり					

8. 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	/					

9. 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

対応案	現状のまま引き続き事業を実施する。
-----	-------------------

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
理由・改善方針	現状のまま引き続き事業を実施する。					